

セメント・同製品製造業における金属材料を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
3	11~12	型枠部材を反転時、型枠部材を安全靴の間に左人差し指を挟み切創を負った。	36	50 ～ 99
3	11~12	自社工場内でコンクリート製品用の鋼製型枠を取り外す際に、鋼製型枠の一部（幅70cm、高さ70cm、厚さ10cm）を倒して備え付けの台（高さ40cm）の上に載せる作業がある。今回はその備え付けの台の上に誤って左足を乗せて作業してしまい、倒した型枠と台の間に左足甲を挟み負傷した。	24	30 ～ 49
3	15~16	工場打設機内を掃除をしていた時、床の蓋（鉄板）を整えようとして（蓋は数枚ある）、持ち上げた蓋に隣の蓋が引っ掛かっていて、引っ掛かった隣の蓋を足の上に落として負傷した。	33	50 ～ 99
7	8~9	型枠組立中、つま枠に部材を取り付けているとき、つま枠を支えていた厘木が倒れ、つま枠が倒れてきた。	47	10 ～ 29
7	9~10	パイル脱型場で、パイル母型に付属する継手取付板（φ80cm、重量50kg位）を転がして移動していた際、床にワイヤーがあったがそのまま転がしたところ、ワイヤーに乗り上げて傾き倒れ、足を挟まれた。	33	10 ～ 29
9	8~9	本社工場のコンクリート製品の製造ラインで、鋼製の型枠を開く作業をしていて、側板がある程度開いたところで、本来なら側板が当たらないように足を退避させておくべき所を、そうしないで側板から手を離れたところ右足の甲に側板が当たり被災した。	42	1 ～ 9

10	10～11	コンクリート製品を製造現場にてアンカープレートをインパクトレンチを使用し取り外す作業中、ボルトを外す際、通常は少しずつ緩め、少し緩んだところでプレートを抑えて完全にボルトを外していたが、一気にボルトが緩み、「プレートが落下」。落下したプレートが体の（足の）方向に倒れてきたため、足を除けたが間に合わず、プレートが足の上に倒れ挟んだ。	65	10～29
12	14～15	当社敷地内にて、保管していたH形鋼をクレーン車で移動する作業をしていた際、H形鋼を片付けようとしてH型鋼の隙間に手を入れたところ、押さえていたつかえ棒を誤って離してしまい、その反動でH型鋼に手を挟まれた。	44	10～29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html